

防コミの歩き方

BOSAI
KOBEMIRAI

「レトロな雰囲気」の「神戸市立地域人材支援センター」

●「あきらめない心」

「黙祷」東日本大震災で、被災者や亡くなられた方への鎮魂の思いを込めた黙祷で、今年の「まちの文化祭」をはじめました。

「まちの文化祭」に関しては、3月11日の被害のことを思い、自粛の意見もありましたが、あえて阪神淡路大震災で被害を受けた長田からエールを、ということで開催になりました。開催時に当センターの理事長は、「長田は被害にあっても『あきらめない心』で復興に頑張ってきました。だから東日本の方にエールをということで開催しました」とあいさつされました。当日は各所に募金箱を設置して来館者の方々に募金をお願いいたしました。

●神戸市立地域人材支援センター

当神戸市立地域人材支援センターは昨年の11月19日にオープンしました。

この建物の前身は、築85年の二葉小学校でした。戦災も震災も乗り越えて、地域の方にはなくてはならない学校でした。その学校が少子化で統廃合になることが平成16年に決まり、それから地域で「旧二葉小学校検討委員会」を作り、3年間存続に頑張ってきました。

この校舎を運営するには法人でなくてはならず、平成22年4月に「NPO法人ふたば」で法人格を取得しました。

その後、平成22年11月から指定管理を受けて、この人材支援センターを管理・運営することになりました。

当センターは3階建てで、1階はロボット工房と多目的室があり、2階は会議室が5部屋

と調理室、地域教育連携センターがあります。

3階は300人収容の舞台つきの講堂、多目的室、音楽室が2つ、他に常盤大学や神戸学院大学が入っています。

また当センターは阪神淡路大震災時に避難場所にもなり、多いときは1200人の方が生活されていました。その時の体験を伝えたく、神戸市内の小・中学校への震災学習をおこなっています。地域の方が語り部となって、旧二葉小学校の「やさしさを忘れないで」の心を伝えています。

その他に3月13日には二葉防コミ、長田消防団と子ども向けの防災訓練として「カエルキャラバン」を当センターで実施しました。

センターでは、「楽しく講座」の名称で園芸教室や手芸教室などを開催し、食文化講座では月4回料理講座もおこない、健康教室もあります。

センターの内部は学校の様子そのまま、レトロな雰囲気があります。

長田区以外の方々にもたくさんお出でいただいております。どうぞ一度いらしてください。

(神戸市立地域人材支援センター

事務局長 向 恵子)

